

事業計画書

事業名	三島・沼津・原「宿場町交流会」
場所	三島市・沼津市中心市街地、片浜・原地内
実施予定期間	平成29年1月12日～6月30日
日程	実施項目・作業項目
	<p>平成27年7月2日に発足した「沼津・観光まちづくり市民の会」は、28年7月17日に初めて総会を開催し、総会終了後の講演会で講師を務めた「グラウンドワーク三島」の渡辺豊博氏からの提案でこの企画が始まった。</p> <p>28年10月2日、初めて関係者による会議を開き、29年2月から4月にかけて、各宿場での交流事業を開催する運びとなった。</p> <p>まちづくりファンドの事業採択が決まれば、1月からは本事業の趣旨に沿ってさらに検討を進め、2月以降の交流会開催に反映したい。</p> <p>① 29年2月25日（土）、9時00分～12時00分＝三島宿交流会 三島駅南口「観光案内所」集合、徒歩で広小路方面へ向かい、三島宿本陣跡などを見ながら西に向かい、千貫樋まで各所を見学。帰途も同様に三島駅で解散。</p> <p>② 同年3月26日（日）、13時30分～16時00分＝沼津宿交流会 沼津市大手町城岡神社集合、徒歩で沼津城本丸跡、旧東海道を経て本町では宿場に関する講座を開催。帰途は新仲見世で「まちのせせらぎづくり」構想の勉強会を行い、現地解散。</p> <p>③ 同年4月22日（土）、9時00分～12時00分＝原宿交流会 片浜駅南口集合、徒歩で大塚方面に向かい、原の宿場を見学。神社や寺院に立ち寄りながら、白隠の道などを散策。松蔭寺、帯笑園は重点的に見学を行い、原駅で解散。</p> <p>以上の交流会終了後は、今後の取り組み方についての検討を行い、改善すべきことなどを話し合い、市民による「観光まちづくり」の方向を引き続き研究していきたい。</p>
事業効果	<p>① まちづくりの新たな視点 今回の「宿場町交流会」は、まちづくりを宿場単位で考えるきっかけになるものであり、まちづくり活動に新たな視点（広域的な視点）がもたらされる。</p> <p>② まちづくりの方法の比較 共催団体である三地区の観光ボランティアガイド、沼津郷土史研究談話会、本町まちづくり研究会は、目的や方法が異なっており、沼津・観光まちづくり市民の会としては、これらを比較しながら、よりよい方法が模索できる。</p> <p>③ まちづくりの客観化 それぞれの宿場町の現状と過去、今後の方向などを客観的に評価することにより、まちづくりの新しい展望が得られる。</p>

※評価の視点については、募集の手引きを確認してください。

公益性	旅行会社などが行うイベント企画とは異なり、三島・沼津・原の元宿場町に縁のある方などが、互いの地域の歴史や文化を学ぶことにより、それぞれが進める「まちづくり」に生かすことができる。
発展性	三島・沼津・原の住民がお互いのまちを学ぶことにより、それぞれの宿場町の違いを見いだすことが可能となり、これまでとは違う視点での考察を行うきっかけとなり、新たなまちづくり活動に結び付く。
地域性	三島・沼津・原と異なる講座をセットして、それぞれの地域における課題の掘り下げができるようにしたことにより、宿場町の持つ魅力が新たに発見できる。
必要性	同事業の実施により、それぞれの地域で活動する観光ボランティアが、広域的な視点（宿場町単位）での知識を身に着けることが可能となり、観光ボランティアの更なる質の向上につながり、沼津市の観光振興に寄与することが可能となる。
先導性	宿場町の交流という観点が新しく独自の発想である 三地区（三島・沼津・原）の観光ボランティアガイド、沼津郷土史研究談話会、本町まちづくり談話会など、多様の団体が連携しよりよいまちづくりのありかたを検討していくことができる。
継続性	これまでにない、新しい取り組みであることから、事業実施における財源確保をはじめ本事業の結果を検証し、それぞれのまちで生かせる方法を整理する。